

株式会社まるたけ サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026年1月30日

株式会社北洋銀行
美原支店

1. 基本情報

| | | |
|------|---------------------------------------|---|
| 企業名 | 株式会社まるたけ | |
| 代表者名 | 斉藤 猛 | |
| 所在地 | ・ 本社 北海道北斗市本町3丁目21番13号 | |
| 資本金 | 150万円 | |
| 従業員 | 8名(2026年01月現在) | |
| 業種 | 運送業、林業 | |
| 事業内容 | ・ 運送業: 原木の運送 ・ 林業: 道有林及び私有林の間伐・除伐等 | |
| 沿革 | 2011年 2019年 2019年 2025年 | 現代表取締役である斉藤 猛氏が個人創業 株式会社まるたけを設立 一般貨物自動車運送業の認可を取得 合法木材供給事業者認定書を取得し林業に進出 |

2. 経営理念

経営理念

インフラの基幹を担う運送業を基軸に、顧客のニーズの更に先を開拓する

株式会社まるたけ(以下、当社)は、建設資材、紙製品など日常生活に必要な様々な物の原材料となる原木の運送を行う他、新たに林業を開始。これにより森林の間伐から運送を当社で一元化を行うことが可能となり当社の強みとして地域社会に貢献できる企業を目指している。

3. 事業概要

① 運送部門

当社は、渡島管内を中心に原木(道南スギ、カラマツ等)の運送事業を行っている。個人創業時から培われた経験を活かし、「安心・安全・迅速」を基軸に、個人創業から約15年間無事故・無違反で運送を続けている。当社で保有している車両は、「尿素SCRシステム」と呼ばれる車両から排出される窒素酸化物(NOx)を無害な窒素と水に分解するシステムを取り入れ、環境にやさしい運送を行っている。またワークライフバランスの観点では、社員が働きやすい環境を作るため有給休暇の取得促進などを積極的に行っている。

林業部門

当社は2025年12月から新たに林業を開始した。林業は、苗木を植える(植林)ことから始まり、成長に合わせて下草を刈り(下刈り)、不要な枝を落とし(枝打ち)、間引き、(間伐)、そして収穫(伐採・主伐)し、再び植林するという循環型の事業であるが、当社は間伐や伐採を担い、適切な森林整備に取り組んでいる。

林野庁の「森林・林業・木材産業の現状と課題(令和7年12月)」によると、日本国土の3分の2に当たる約2,500万haが森林で、その内の1,500万haが天然林、残りの1,000万haが人工林とされており、人工林においては約6割が樹齢50年生を超えて成熟し利用期を迎えている。また森林は水源の涵養や生物多様性の保全の他木材等の林産物供給などの多面的機能を有している。上記の理由から森林が多い我が国においては間伐・主伐・再造林等の適切な森林整備が必要となる。

当社では森林組合からの業務委託のほか、私有林の間伐も行っている。地方公共団体が管理している森林だけではなく、私有林の適切な間伐を積極的に行うことで環境保全の一端を担っている。

■ 実際に使用している車両の写真



4. サステナビリティ目標

当社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、当社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、当社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

| | |
|-----------|---|
| 重要課題 | 脱炭素社会実現の貢献 |
| 目標・KPI | CO2 排出量の可視化を実施する。 |
| 関連する SDGs |   |

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

| | |
|-----------|---|
| 重要課題 | ワークライフバランスの充実 |
| 目標・KPI | 有給休暇取得率を 70%以上とする。 |
| 関連する SDGs |   |

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。